Panasonic

SmartLighting Eco
環境配慮型埋込コンフォート15

取扱説明書

保管用

（一般屋内用）

品　名	基本灯具品番	反射板品番				連結金具品番
		単　体	中　用	右　用	左　用	
既設XF824CA	FHA82741FPN2	FHK82781A	FHK82782A	FHK82783A	FHK82784A	NK82712
既設XF824CBA		FHK82785A	――	――	――	NK82762
既設XF824CL	FHA82741JPY2	FHK82781A	FHK82782A	FHK82783A	FHK82784A	NK82712
既設XF824CBL		FHK82785A	――	――	――	NK82762
既設XF829CA	FHA82741FPJ2	FHK82791A	FHK82792A	FHK82793A	FHK82794A	NK82712
既設XF829CBA		FHK82795A	――	――	――	NK82762

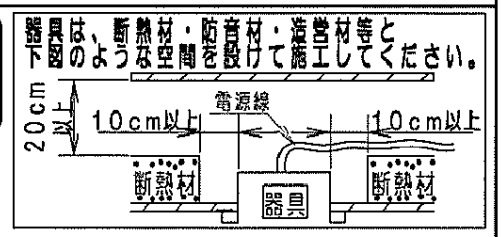
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 施工は、取付方法にしたがい確実に行う。
  施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
  火災の原因となります。
- 器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
- 天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付はしない。
  落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6％）・周波数以外の電源で使用しない。　感電・火災の原因となります。



⚠注意

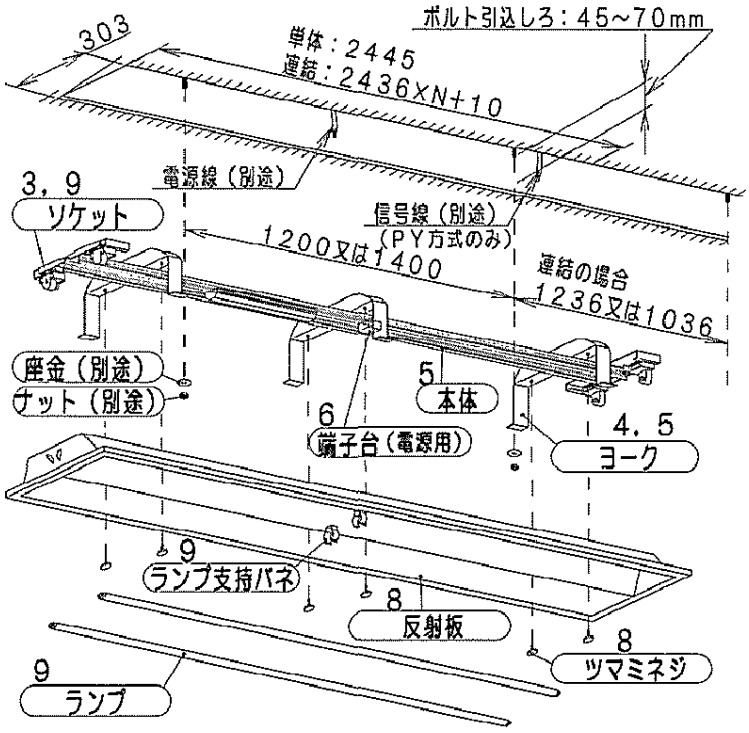
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
  落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃（PY方式の場合は10～35℃）以外では、使用しないでください。　ちらつきや短寿命の原因となります。

各部のなまえと取付けかた

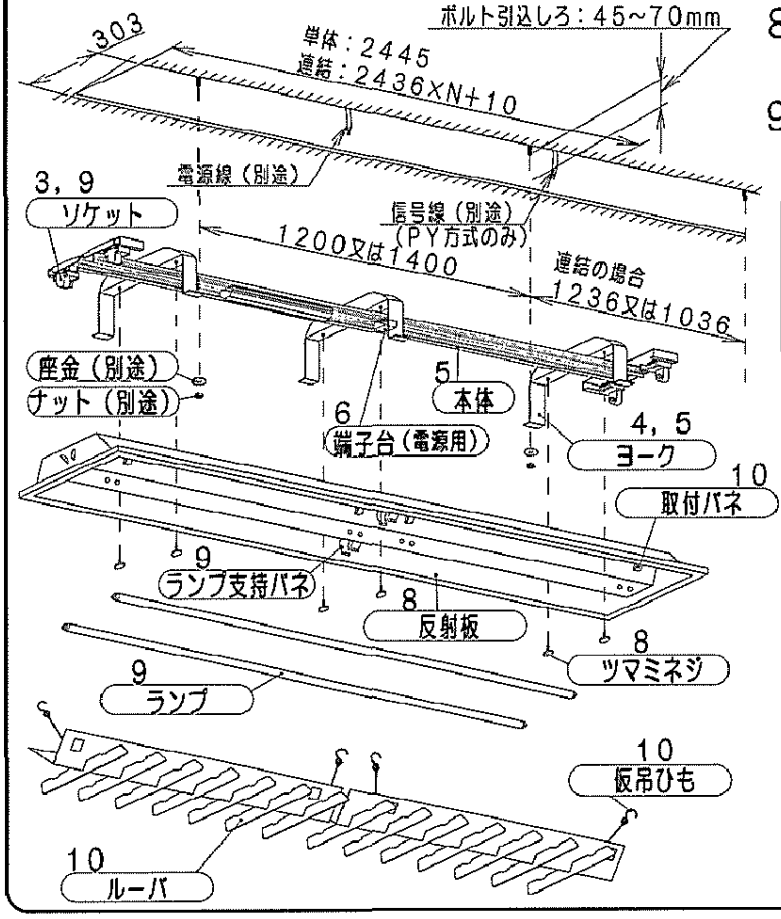
⚠警告

●施工は、取扱説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因になります。

既設XF824CA・既設XF829CA・既設XF824CLの場合



既設XF824CBA・既設XF829CBA・既設XF824CBLの場合



1 取付前の確認

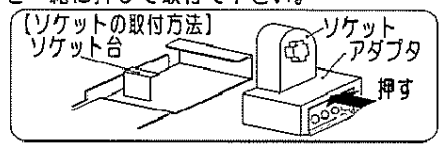
・器具質量（12．0kg：既設XF824CBA）に十分に耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。
取付ボルトは、W3／8又はM10を使用する。
不備があると器具落下の原因となります。

2 埋込穴の開口

・埋込穴、取付ボルトを左図のように用意しておく。

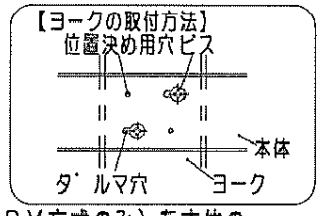
3 ソケットの取付

・ソケットをソケット台にはめ込む。
ソケットとアダプタを一緒に押して取付て下さい。
（下図の矢印部を押してください。）



4 ヨークの取付

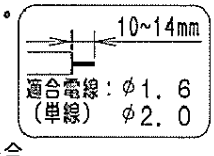
・ヨークのビスを一度ゆるめ、本体のダルマ穴にビスを入れる。
・ヨークの突起で位置決めした後、ビスをしめて取付る。



5 本体の取付

・電源線、アース線、信号線（PY方式のみ）を本体の電源穴、信号線用穴から引き込んでおく。
・ヨークが天井面に密着するように引き上げ、本体を取付ボルトに確実に取付ける。（ナットを締めすぎるとヨークが変形する場合があります。）
（推奨トルク値0．8N。m）
不備があると器具落下の原因となります。

6 電源線の接続



・電源線を確実に差し込む。
・D種（第3種）接地工事が必要。
・端子台の容量は、20Aです。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

7 信号線の接続（PY方式のみ）

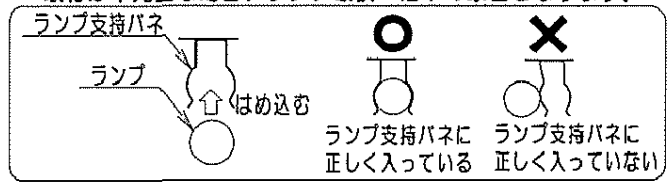
・3ページをご覧ください。

8 反射板の取付

・ツマミネジにて反射板を確実に取付ける。
不備があると反射板落下の原因となります。

9 ランプを確実に取付ける。

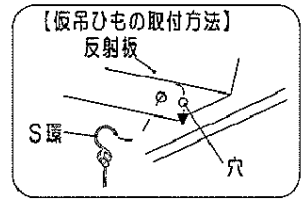
・ランプをソケット、ランプ支持バネに確実に取付ける。
取付が不完全な場合、ランプ破損・落下の原因となります。



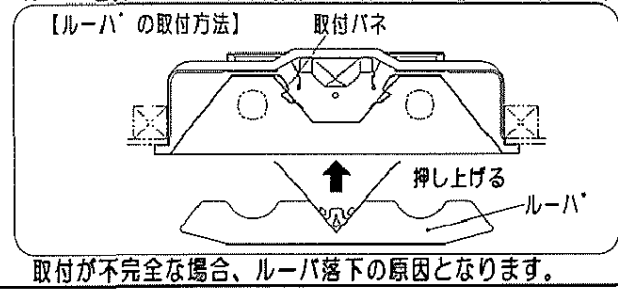
ルーバ付反射板の場合

10 ルーバの取付

・ルーバについている仮吊ひものS環を反射板の穴に引掛けて仮吊りする。
取付が不完全な場合、ルーバ落下の原因となります。



・ルーバを押し上げて、反射板の取付バネに確実に取付ける。

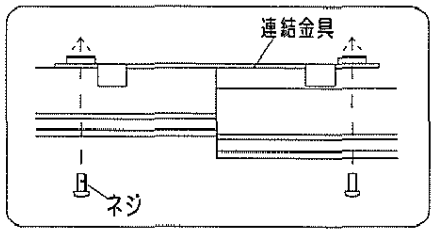


取付が不完全な場合、ルーバ落下の原因となります。

連結の場合

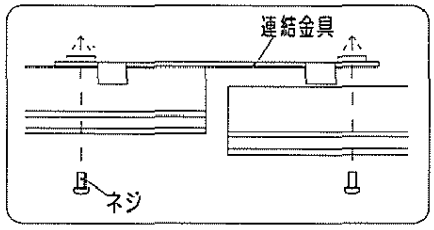
ルーバなし反射板の場合

・連結金具（別途）を本体に取付ける。
・連結金具品番
　NK82712
・本体の外側に連結金具を
　はめ込み、ネジ止めする。

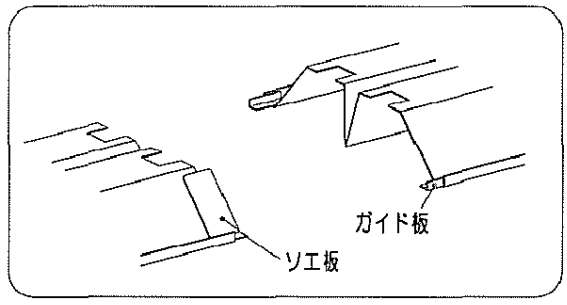


ルーバ付反射板の場合

・連結金具（別途）を本体に取付ける。
・連結金具品番
　NK82762
・本体の外側に連結金具を
　はめ込み、ネジ止めする。
・反射板は単体反射板連結です。



＜反射板の取付＞
・ソエ板付反射板から取付け、
　ガイド板をソエ板と反射板に
　はさみ込むように取付ける。

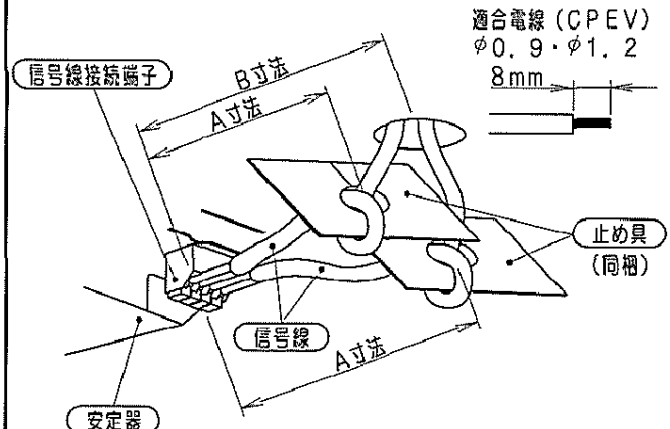


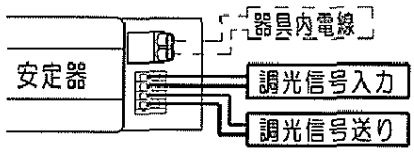
信号線の接続（PY方式のみ）

⚠警告

● 信号線接続は下記に従い確実に取付ける。不備がある場合、感電・火災の原因となります。

各部のなまえと取付けかた





＜信号線の接続と張力止め＞

●同梱の止め具を使用して信号線の張力止めをしてください。
●安定器の信号線接続端子に直接張力が加わらない様に調整して下さい。

1．信号線を同梱の止め具に通す。
2．止め具を一周させもう一度信号線を止め具に通す。
　A寸法がB寸法より長くなる様に調整してください。
　不備があると正常に調光できなくなります。
3．信号線を安定器の信号線接続端子差込穴に確実に差し込む。
　・安定器の表示ラベルに合わせてください。
　・信号線に極性はありません。
　・信号線接続端子の容量は2Aです。
　接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、
　正常に調光できなくなります。
4．信号線・止め具が本体から飛び出さない様に収納してください。
　不備があると反射板等落下の原因となります。

●送り配線される場合は2ヶの止め具を使用し、
　それぞれの張力止めを行なってください。

・適合コントローラ
　●インバータライコン
　●セルコン（セルコン・セパ，コンビニセルコン，スーパーマーケットセルコン等）
　●調光T／U
・上記以外のものを使用の場合は弊社までお問い合わせください。
・コントローラとの結線又は制御可能台数は使用するコントローラの説明書を参照ください。

取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
  そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。　感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して※１０年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。
  点検・交換してください。
  ※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯、年間３０００時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- １年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
  点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。　強度低下による破損の原因となります。

使用上のご注意

・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
・調光範囲は室温、器具形態等により異なります（ＰＹ方式の場合）。

保証について

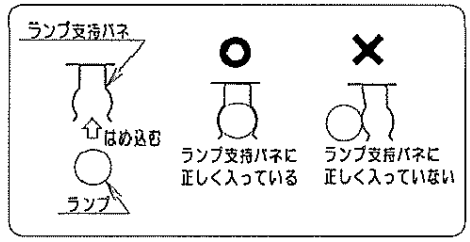
・保証について
　この商品の保証期間は１年間です。但し、安定器は３年間です。
　ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について
　保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

お手入れ・ランプ交換 ⚠注意（必ず電源を切って行なってください。感電の原因となります。）

・器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
　シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
　変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
・ランプ交換について・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
　（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください。）

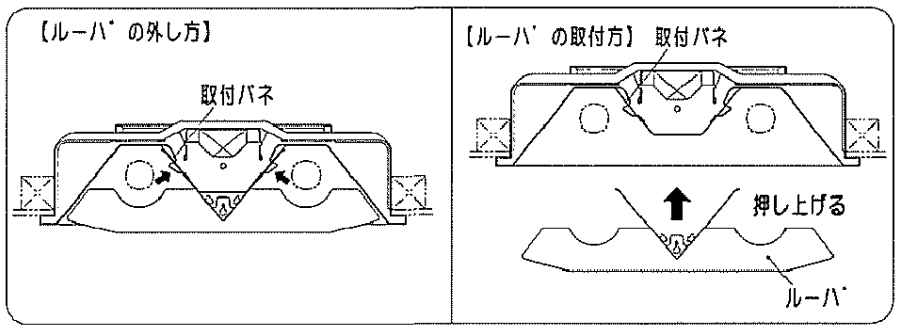
交換部品	蛍光ランプ	ＦＨＦ８６・・・／ＲＸ

　ソケット・ランプ支持バネにランプを確実に取付けてください。
　ランプ破損・落下の原因となります。



＜ルーバ付の場合＞
既設ＸＦ８２４ＣＢＡ
既設ＸＦ８２９ＣＢＡ
既設ＸＦ８２４ＣＢＬ

1. 取付バネを押してルーバ゛を外す。
2. ルーバを仮吊り状態にする。
3. ランプを交換する。
4. ルーバを押上げ、取付バネに
   確実に取付ける。



パナソニック電工株式会社　施設・屋外照明事業部　〒571-8686　大阪府門真市門真１０４８

MN0503-071008